

August 23, 2024

iCamuno Biotherapeutics

I Peace, Inc.

幹細胞療法の開発企業 I Peace と iCamuno Biotherapeutics

卵巣がんに対するナチュラルキラー細胞の臨床試験を開始

GMP 細胞開発製造受託企業アイ・ピースと、iPS 細胞ベースの治療法を開発しているバイオテクノロジー企業 iCamuno は本日、卵巣がん免疫療法に iPSC 由来のナチュラルキラー (NK) 細胞を使用する臨床試験を開始すると発表しました。iCamuno が主導するこの試験では、iCamuno の NK 細胞分化技術を駆使し、I Peace の cGMP 準拠 iPS 細胞から作成された NK 細胞の安全性と有効性をテストします。

NK 細胞は免疫システムの重要な構成要素であり、腫瘍細胞を認識して破壊する自然な能力を備えています。iCamuno 独自の iPS 細胞由来 NK 細胞誘導技術を用いることにより、cGMP グレード NK 細胞の一貫性とエフェクター機能が大幅に向上しました。当初は卵巣がんにもフォーカスしますが、今後より広範な疾患に対象を拡大することも視野に開発を進める予定です。

アイ・ピース(I Peace)について

iPS 細胞ならびに iPS 細胞由来細胞療法に特化する GMP 細胞開発製造受託企業アイ・ピース

(<https://www.ipeace.com>) は、cGMP iPS 細胞の販売、及び医療用細胞の製造受託サービスをグローバルに展開しています。京都大学山中伸弥教授の研究室出身で、世界で初めてヒト iPS 細胞の樹立成功を報告した論文の第二著者でもある田邊剛士によって 2015 年に立ち上げられた会社です。iPS 細胞の開発当初から研究に従事してきた田邊は、アイ・ピースを通じ iPS 細胞を全ての人々の手に届くものとするを旨とし、日々革新的な技術開発に取り組んでいます。アイ・ピース独自の技術により、コンタミネーションの懸念なく複数のドナー由来の iPS 細胞を並行して

製造することができ、多数の iPS 細胞を適切な価格で提供することが可能となりました。

PMDA・FDA 基準に沿った高品質細胞製品として弊社の iPS 細胞その他細胞製品を製薬会社・細胞医療開発会社に利用していただくことを通じ創薬・細胞医療開発を支援し、また、世界中の一人一人が自分自身の iPS 細胞を持つことにより将来に備えることができるように個人向けの iPS 細胞製造を進めています。細胞医療が一日も早く患者さんの手が届くものとなるよう、製薬会社・細胞医療開発会社を支援するとともに、個人向け iPS 細胞バンキングサービスの確立により再生細胞医療の一日も早い普及を目指しています。

iCamuno Biotherapeutics について

iCamuno Biotherapeutics は、独自の細胞リプログラミングおよび分化技術を活用して臨床グレードの iPS 細胞製品を生成するバイオテクノロジー企業です。細胞のリプログラミング・エンジニアリング、分化の最先端の技術を有し、神経疾病、自己免疫疾患、ガンを含む様々な疾病に有効なエフェクター細胞を創り出しています。グローバルに複数の拠点を有する iCamuno Biotherapeutics は、産業、アカデミア、製薬業界のメンバーからなる優れたチームの力を結集し、幅広い疾病に適用でき、高い効果を有しかつ誰にでも手が届く iPS 細胞医療のグローバルリーダーを目指しています。

I Peace, Inc.

創始者・CEO：田邊剛士 (Koji Tanabe)

創立：2015 年

本社所在地：米国カリフォルニア州パロアルト

日本子会社：I Peace, Ltd. (アイ・ピース株式会社)、京都市

iPS 細胞製造拠点 (Peace Engine Kyoto)：京都市

ウェブサイト <https://www.ipeace.com>

メディア問い合わせ：press@ipeaceinc.com

iCamuno Biotherapeutics

共同創始者・会長：イーサン・リュー (Ethan Liu)

本社所在地：オーストラリア、メルボルン

ウェブサイト：<https://www.icamunobio.com/en/about/>

メディア問い合わせ：matthew.mccormack@icamuno.com